

範囲指定で表示を固定

	A	B	C	D	E	F	
1	氏名	会社			住所	役職	
2	北海道太郎	札幌××株式会社	1	#NAME?	札幌市中央区	総務部長	011-
3	青森花子	株式会社××商事	2	1	札幌市北区	担当	011-
4	秋田二郎	(有)××エレクト	4	1	石狩市花川	社長	013-
5	岩手三郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課課長	011-
6	福島五郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課主任	011-
7	宮城一郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課担当	011-
8	山形四朗	××電機(株)	5	1	苫小牧市	公共事業課長	014-
9	新潟次郎	××工業株式会社	6	1	札幌市厚別区	主査	011-
10							
11							
12							

ピボットテーブル
ピボットテーブル
ピボットテーブル
ピボットテーブル
結果
結果2
見出し
見出し1
標準

上図のようにフィールドが他項目に渡り表示しきれないときは、下のスクロールバーで右に移動しながら見るようになります。

(実際にはもっと多くのフィールド(列)が表示されますが、画像にすると小さすぎて分かりづらいので、隠しています。)

ところがA列が隠れてしまうと、誰の住所や電話番号なのかわからなくなる時があります。そこでスクロールバーで右に移動しても、A列の表示を固定して置く機能です。

	A	B	C	D	E	F
1	氏名	会社			住所	役職
2	北海道太郎	札幌××株式会社	1	#NAME?	札幌市中央区	総務部長
3	青森花子	株式会社××商事	2	1	札幌市北区	担当
4	秋田二郎	(有)××エレクト	4	1	石狩市花川	社長
5	岩手三郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課課長
6	福島五郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課主任
7	宮城一郎	(株)××テクニカ	3	3	札幌市東区	工事課担当
8	山形四朗	××電機(株)	5	1	苫小牧市	公共事業課長
9	新潟次郎	××工業株式会社	6	1	札幌市厚別区	主査
10						
11						
12						

固定したい列・行に隣接したものまで選択します。

【ウィンドウ(W)】⇒【固定(E)】を選択クリックして縦横のスクロールバーで移動してください。

	A	F	G	H	I	J
1	氏名	役職	電話	内線	FAX	携帯
2	北海道太郎	総務部長	011-xxx-1111	-	011-xxxx-1112	090-xxxx-
3	青森花子	担当	011-xxx-2222	-	011-xxxx-2223	080-xxxx-
4	秋田二郎	社長	0133-xx-5678	-	0133-xx-5679	090-xxxx-
5	岩手三郎	工事課課長	011-xxx-3333	-	011-xxxx-3334	080-xxxx-
6	福島五郎	工事課主任	011-xxx-3333	-	011-xxxx-3334	080-xxxx-
7	宮城一郎	工事課担当	011-xxx-3333	-	011-xxxx-3334	080-xxxx-
8	山形四朗	公共事業課長	0144-xx-6666	-	0144-xx-6667	090-xxxx-
9	新潟次郎	主査	011-xxx-9999	3456	011-xxx-0000	090-xxxx-

B・C・D列は見えなくなりましたが、A列は固定されたままです。

縦スクロールに対し行を選択する場合も、隣接(直下)行を含めて選択します。

列や行全体を選択して、右クリックメニューから【表示しない】を選択しても見やすくなりますが、筆者的にはあまりクールな方法ではないと思います。

非表示になったフィールドやレコードを復活させるときは、境界をダブルクリックします。

ど真ん中より隠れている側にちょっとずらしてのダブルクリックがコツです。